



経営ガイドブック

財務R 4 サンプル株式会社

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

経営資本対営業利益率

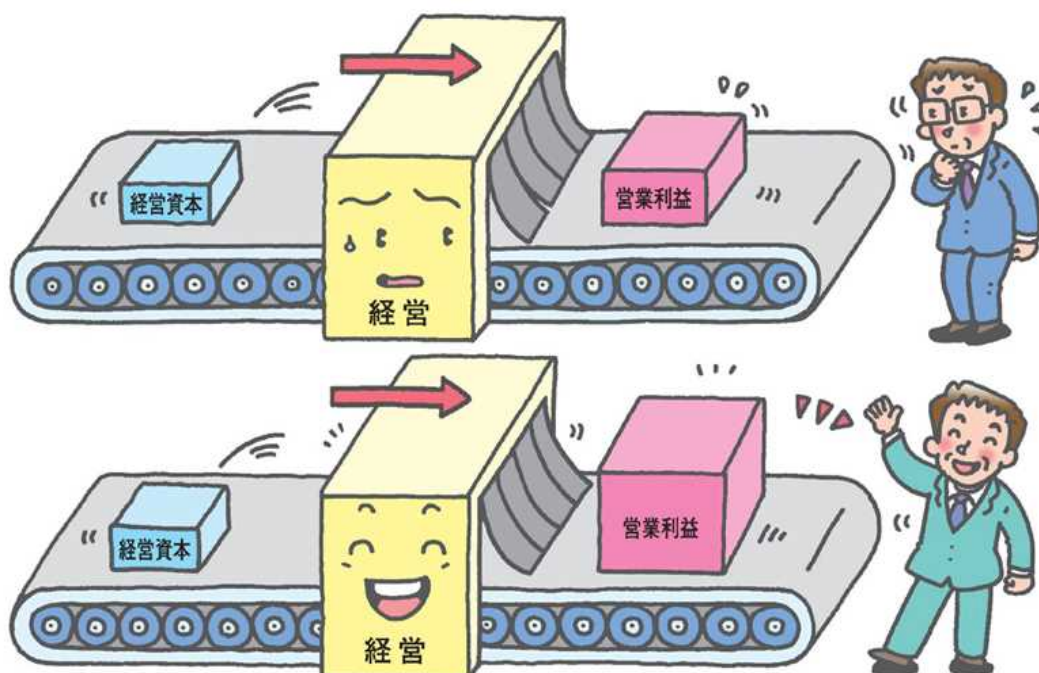
算式

$$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$$

本来の営業活動による収益性をみます。会社が本来の経営活動に使用している資産（経営資本）から営業利益をどの程度上げているかを示した指標です。

この比率は、高いほうが良いとされています。また、同じ経営資本からならば、多くの営業利益を上げているほうが良いといえます。

もし、この比率が低い場合には、営業利益の減少の原因となる売上の不振、設備への過大投資、経費の無駄な消費等々がないかどうか確認してみましょう。また、経営資本の増加の原因となる借入金の増加等がないかどうか確認してみましょう。



あなたの会社のここ3年の動きと業種平均です。

	単位	2期前	前期	当期	目標値
経営資本対営業利益率	%	25.76	21.96	18.28	4.80
傾向	—	—			
営業利益	千円	1,497,171.28	1,664,771.79	1,718,770.93	—
経営資本	千円	5,812,168.63	7,581,804.04	9,403,514.10	—

この値は年換算（×12÷経過月数）しています。

流動比率

算式

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

短期の支払能力は十分かどうかをみます。
短期的な負債（買掛金や短期借入金等の流動負債）を支払う資金が現金化しやすい流動資産にどれくらいあるかを示した指標です。

この比率は、高いほうが良いとされています。

この比率が低い場合には、売掛金の回収の遅れがないかどうか、短期借入金の増加による流動負債の増加はないかどうか、確認してみましょう。
流動資産のなかには、すぐに現金化できるものとそうでないもの（たとえば、棚卸資産）がありますので、この比率の数値だけではなく、当座比率も合わせてみてみましょう。



流動資産で流動負債を
賄えない!



→支払いができなくなる!



流動資産で流動負債を
賄うことが可能!



→支払いができる!

あなたの会社のここ3年の動きと業種平均です。

	単位	2期前	前 期	当 期	目標値
流動比率	%	217.63	210.24	208.33	194.50
傾向	—	—			
流動資産	千円	5,755,822.78	7,525,333.99	9,332,324.05	—
流動負債	千円	2,644,744.06	3,579,414.65	4,479,513.12	—

売上高対総利益率

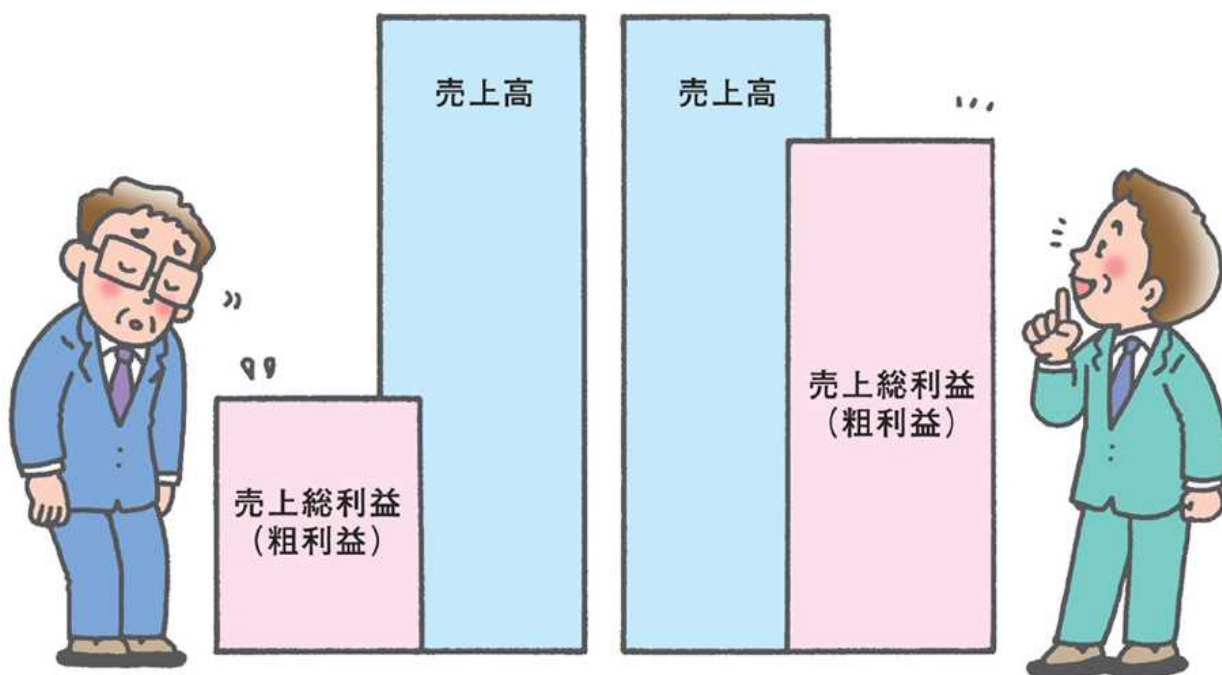
算式

$$\frac{\text{総利益}}{\text{純売上高}} \times 100$$

売上高に占める売上総利益（粗利益）の割合をみます。
売上高に対する売上総利益の割合を示した指標です。

この比率は、高ければ高いほど良いとされています。

この比率が低い場合には、売上単価が低いか、製造原価や商品の仕入価格が高いことを意味します。
販売数量を伸ばすか、製造単価や仕入単価を下げる検討が必要です。



あなたの会社のここ3年の動きと業種平均です。

	単位	2期前	前期	当期	目標値
売上高対総利益率	%	64.95	65.58	66.27	21.90
傾向	—	—			
総利益	千円	1,994,475.08	2,189,457.98	2,232,009.45	—
純売上高	千円	3,070,726.06	3,338,726.06	3,368,191.06	—